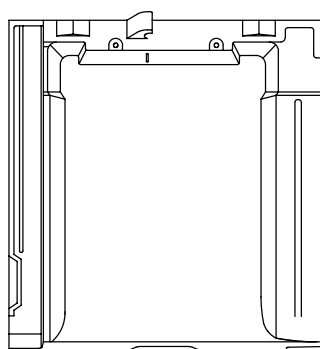
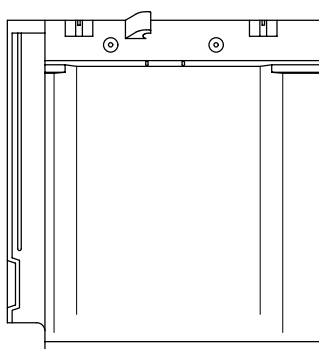


スーパートライ 1 1 0

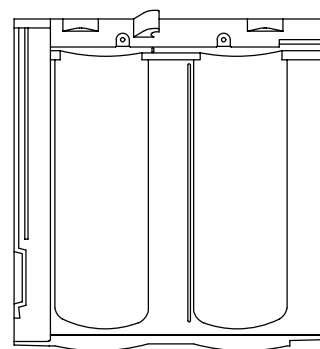
施工要領書



タイプ



タイプ



タイプ

第 1 2 回改定版

株式会社 鶴 弥

注意事項

- 1.本資料は専門工事業者（瓦屋根）を対象としています。
- 2.本資料は当社の標準施工要領を示すものです。
（地域・ハウスメーカー毎に施工方法が異なる場合があります。）
- 3.本資料は法改正、商品改良のためなどにより予告なく変更する場合がありますので、施工の際には本資料が最新であることをご確認ください。

改定内容

【第12回改定】 2010.02

- ・スーパースライ110タイプ 全長350 352mmに変更
- ・製品リストその他部材に新型片流れ冠を追加
- ・副資材品目の追加（壁止め板金、パッキン付ステン瓦ビス、調整式ステン棟金具、扇形雪止め金具）
- ・その他、誤記訂正・レイアウト変更・注意書き追加など

【第11回改定】 2009.09

- ・スーパースライ110タイプ 全長350mm 352mmに変更
- ・軒先メタル 軒先メタルLに変更
- ・棟金具の取付けピッチ900 910に変更
- ・三角冠乾式工法（カルむね）部材及び施工方法の削除
- ・EPDMシーラー25×25 EPDMシーラー25×20に変更
- ・下葺工事 図の変更
- ・その他、誤記訂正・レイアウト変更・注意書き追加など

【第10回改定】

- ・屋根下地仕様の追加（フリーエアー工法）
- ・RS袖瓦の追加
- ・縦棧用テープにエコキズリを追記
- ・役物瓦留め付け パッキン付ステンレス釘の表記の削除
- ・下葺工事 谷部の張り方の表現を変更
- ・その他、誤記訂正など

目 次

1 . 安全上のご注意	-----	1
2 . 安全作業のために	-----	1
1) 作業開始前の点検・確認		
2) 作業における点検・確認		
3) 施工後の養生・保守管理		
4) その他		
3 . 安全作業	-----	2
安全管理（高所作業の安全）		
現場での瓦の取扱方法		
瓦揚げ		
梱包の解き方		
4 . 施工後の保守・管理	-----	3
5 . 製品仕様	-----	4
6 . 製品リスト		
製品リスト	-----	5 ~ 7
雨押え・水切部材 木材	-----	8
副資材	-----	8 ~ 10
各釘の使用箇所	-----	11
役物使用箇所	-----	12 , 13
7 . 屋根瓦割寸法	-----	14
8 . 軒先・袖の下地納まり	-----	15
9 . 下葺工事	-----	16
10 . 棧葺き	-----	17 , 18
11 . 袖の納まり	-----	19
12 . 三角冠湿式工法	-----	20
13 . 三角冠乾式工法（フリーエア工法）	-----	21
14 . 同質差し棟工法	-----	22 ~ 25
15 . 谷・片流れの納まり	-----	26
16 . 壁際の納まり	-----	27
17 . 雪止及び雪止金具の施工	-----	28
18 . パッシブ型小屋裏棟換気 - 1 P - 換	-----	29 , 30
パッシブ型小屋裏棟換気 - 2 エアフロー	-----	31 ~ 33
19 . 棧瓦釘打ち基準	-----	34 ~ 36
20 . 破損時の瓦差し替え方法	-----	37 , 38

1. 安全上のご注意

* 瓦屋根工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく工事してください。

●表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して、説明しています。

警告	* この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
-----------	---------------------------------------

注意	* この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
-----------	---

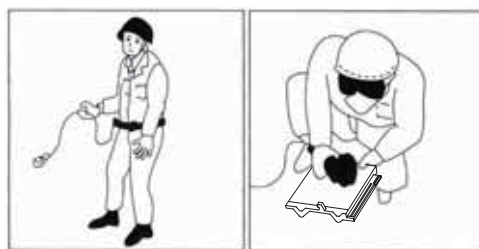
●工事終了後、チェックリストにしたがって各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

警告	
●屋根工事に際しては、屋根からの転落の危険があります。 施工要領書通りに正しい作業を行ってください。	* 安全対策を怠ると、落下してケガをするおそれがあります。
●屋根工事に際しては、必ず転落防止のための防護ネットや足場を設置してください。	* 設置を怠ると、落下してケガをすることがあります。
●屋根面から器物が落下しないようにしてください。 瓦の積み上げ、破材処理については、施工要領書通り正しい作業を行ってください。	* 器物が落下すると、ケガ及び器物破損のおそれがあります。
注意	
●瓦は施工要領書通りに必ず緊結してください。	* 緊結不良により、瓦のズレ、落下のおそれがあります。
●瓦の取り扱いには必ず手袋を着用してください。	* 瓦のバリなどによりケガをするおそれがあります。
●結束された瓦の取り扱い時には結束バンドの強度を確認してください。	* 結束バンドの接着不良、劣化等により結束バンドが切れることがあります。

2. 安全作業のために

1) 作業開始前の点検・確認

- ①屋根工事作業者は、正しい服装で安全作業をしてください。
- ②保護帽はきちんとかぶり、あごひもは確実にしめ、安全帯(命綱)、作業靴(すべりにくいもの)を必ず着用してください。
- ③健康状態に注意して作業してください。
- ④グラインダー・サンダーでの切断時には防塵メガネ・防塵マスクを着用してください。



2) 作業における点検・確認

- ①屋根勾配・流れ長さ・地域等に適した設計基準になっているかを確認してください。
- ②屋根下地の施工が安全に行われているかを確認してください。
- ③整理・整頓に心掛けてください。
- ④転落防止の足場を確保して下さい。
- ⑤機会工具類の安全運転の確認をしてください。

3) 施工後についても養生・保守管理を徹底してください。

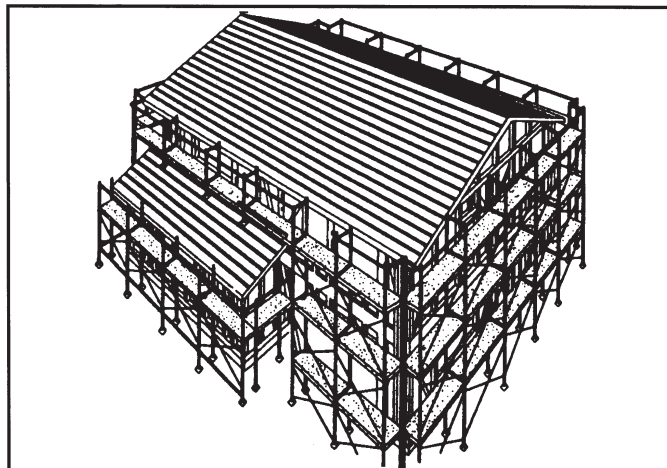
4) その他

- ①この施工要領書は、瓦屋根工事技士、瓦葺一級技能士、二級技能士、またはこれらと同等の施工能力を持った専門業者を対象としています。

3. 安全作業

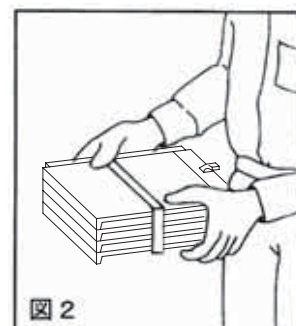
安全管理（高所作業の安全）

- ①墜落防止のために高所作業には足場、瓦揚げ機、脚立等の設備を使って適当な広さの、手すりを設けた作業床を設けてください。
- ②墜落防止のため、防護ネットを設けてください。



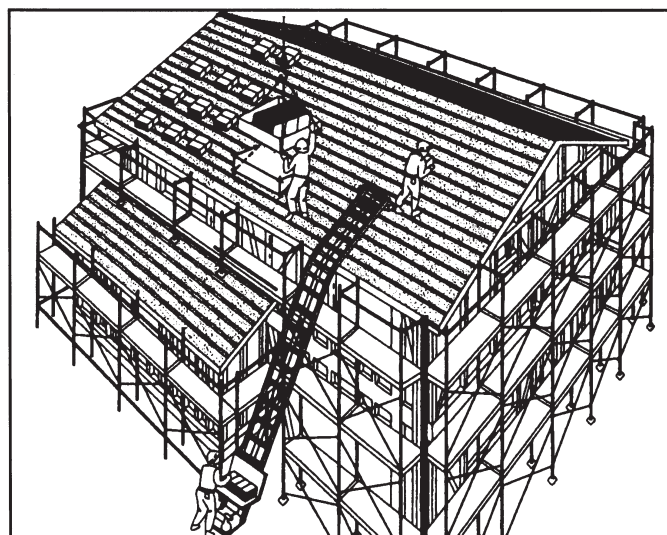
現場での瓦の取扱方法

- ①現場へ瓦を置くときは置き場所が水平かどうかを確認してください。
- ②瓦のパレット積み商品の重ね置きは禁止します。
- ③瓦のバラ置きの場合は荷崩れしないようにしてください。
- ④瓦の建屋にもたせかけないでください。
- ⑤瓦を運ぶときは、結束バンドを持たないで瓦自体をお持ち下さい。
(結束バンドの接着不良、劣化等により、結束バンドが切れることがあります。)



瓦揚げ

- ①瓦揚げの場合、瓦揚げ機、クレーン等で行ってください。手渡し等は絶対にしないでください。
- ②クレーン使用の場合は、必ず有資格者が行ってください。屋根の上で水平となるような台を設置してから作業してください。
- ③瓦揚げ機の台車には瓦が落下しないような積み方をしてください。
- ④瓦揚げ機を使用の際には、瓦揚げ機の仕様書に従ってください。
- ⑤作業現場の状況に適した機械のかけ方をしてください。
- ⑥地上で作業する者は常に頭上に注意し、落下物に対する身の処置を考えておいてください。
また屋根上で作業する者は、台車を止める位置と合図を明確に指示し、上下の連絡を密にしてください。
- ⑦瓦揚げ機の台車には絶対に乗らないでください。



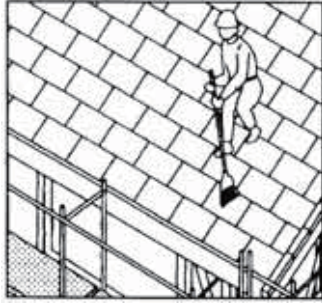
梱包の解き方

- ①屋根上での瓦は一束以上は積み上げないでください。
- ②屋根上で結束バンドを解くときは、カッターで結束バンドを切断し、包装紙・結束バンドが飛散しないようにしてください。

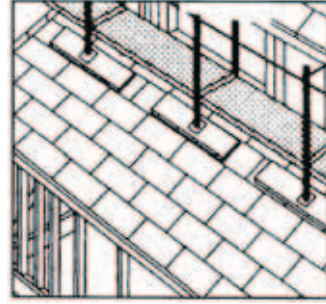
4. 施工後の保守・管理

- 葺き上げた瓦屋根を完全な状態でお施主様に満足していただくために、屋根施工後、施工事業者の方に次の点を十分にご注意いただくよう指示徹底をしてください。

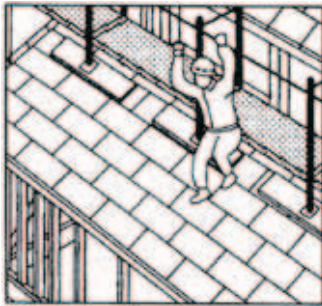
①工事終了後は、必ずゴミやクズなどをきれいに掃除してください。



②足場を組む場合は、屋根面に必ず養生板を敷くようにしてください。
※屋根面を足場にして作業する場合は、必ず養生板を敷きこんでください。



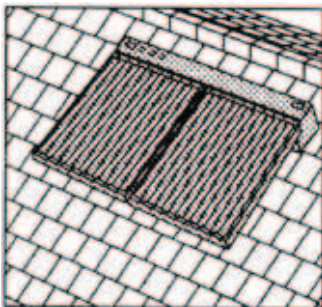
③作業中、足場から屋根面へ跳び降りたり、物を落としたりするとヒビ割れ、破損を生じ、雨漏りなどクレームの原因となりますので注意指摘してください。
※特にオーバーラップ部を踏まないように注意してください。



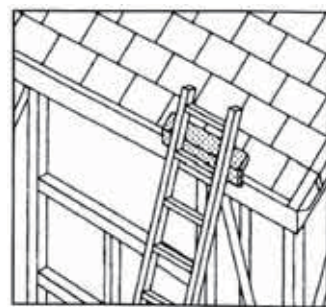
④壁面、その他モルタル塗り、リシン吹きつけなどの吹付作業に際しては、屋根面のシート養生を徹底するよう指示してください。
※瓦に付着したモルタル塗装の汚れは、補修できませんのでご注意下さい。



⑤アンテナ、温水器等の設置止め付け時は瓦の破損、ずれが生じやすくなりますのでご注意ください。



⑥ハシゴをかける場合には、当木を使ってください。
※重量物を設置する場合荷重が1点にかからないようにしてください。



5. 製品仕様

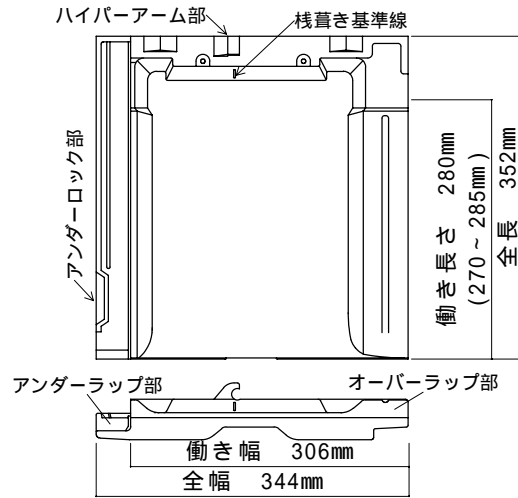
スーパートライ110 タイプ

全 長	352mm	全 幅	344mm
働き長さ	280mm (270~285mm)	働き幅	306mm
重 量	3.6kg / 枚 (43.2kg / m ²)		
葺き枚数	40枚 / 坪		
梱包枚数	324枚 / パレット		

標準屋根勾配及びその流れ長さ

標準屋根勾配	4.0/10	4.5/10	5.0/10	6.0/10
その流れ長さ	8m	10m	12m	18m

【注】これはスーパートライ110タイプを安心してお使い頂くための標準値です。



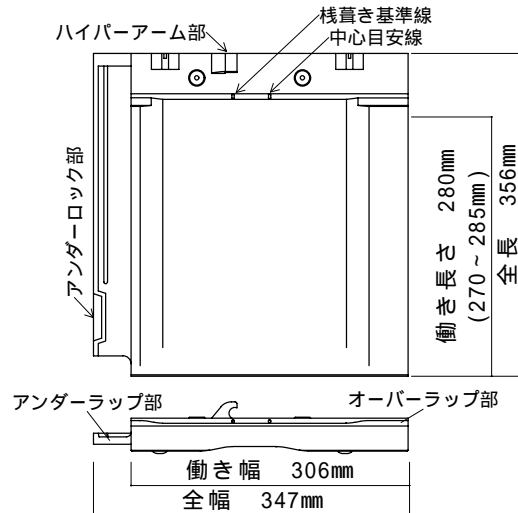
スーパートライ110 タイプ

全 長	356mm	全 幅	347mm
働き長さ	280mm (270~285mm)	働き幅	306mm
重 量	3.6kg / 枚 (43.2kg / m ²)		
葺き枚数	40枚 / 坪		
梱包枚数	324枚 / パレット		

標準屋根勾配及びその流れ長さ

標準屋根勾配	4.0/10	4.5/10	5.0/10	6.0/10
その流れ長さ	8m	10m	12m	18m

【注】これはスーパートライ110タイプを安心してお使い頂くための標準値です。



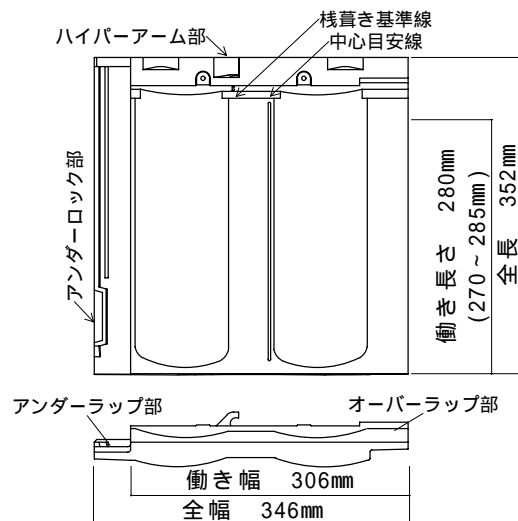
スーパートライ110 タイプ

全 長	352mm	全 幅	346mm
働き長さ	280mm (270~285mm)	働き幅	306mm
重 量	3.6kg / 枚 (43.2kg / m ²)		
葺き枚数	40枚 / 坪		
梱包枚数	324枚 / パレット		

標準屋根勾配及びその流れ長さ

標準屋根勾配	3.0/10	3.5/10	4.0/10	4.5/10	5.0/10	6.0/10
その流れ長さ	6m	8m	10m	12m	14m	18m

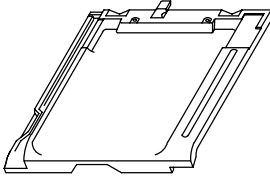
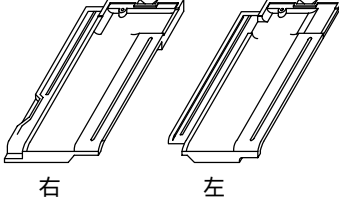
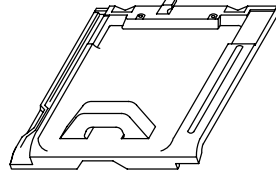
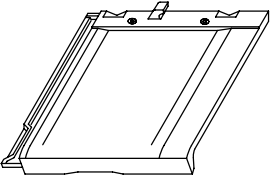
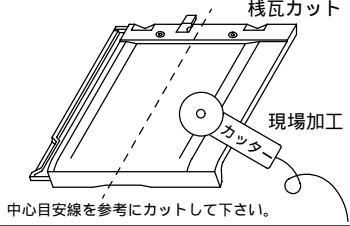
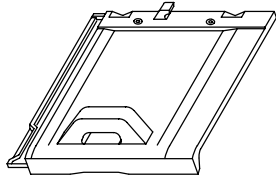
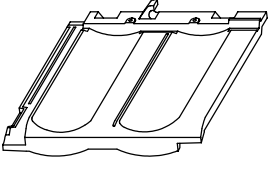
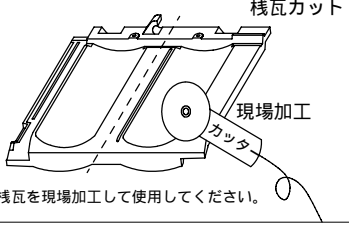
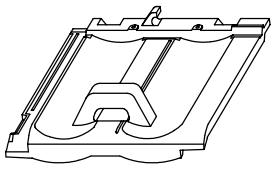
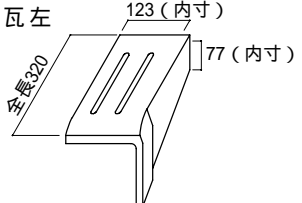
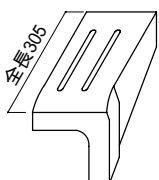
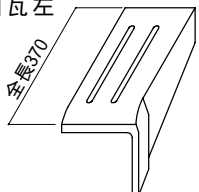
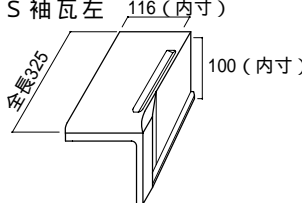
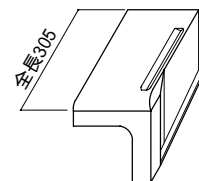
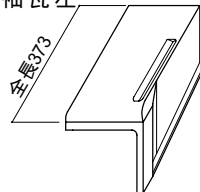
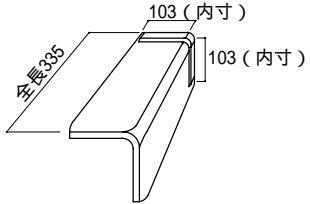
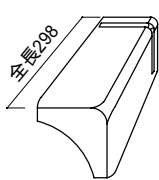
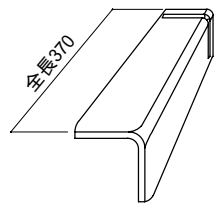
【注】これはスーパートライ110タイプを安心してお使い頂くための標準値です。

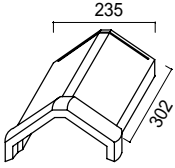
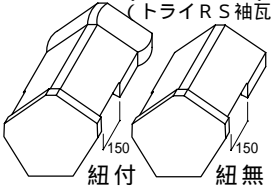
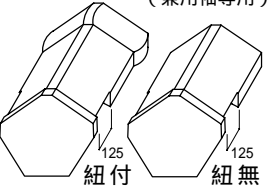
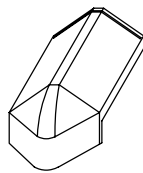
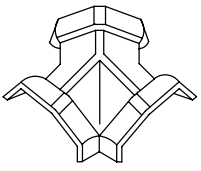
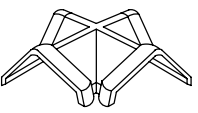
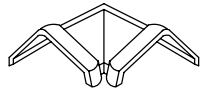
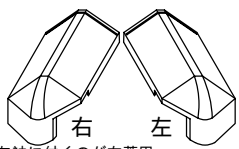


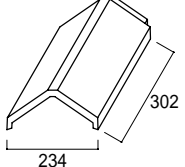
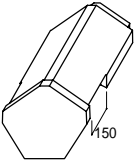
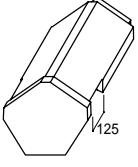
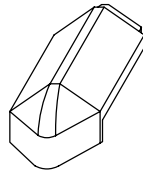
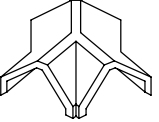
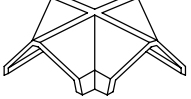
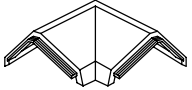
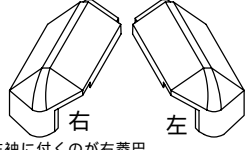
建築基準法 第2条9項に基づき国土交通省告示第1400号に瓦は不燃材料として定められています。
1100度以上の高温で焼き固められているので通常の火災時の加熱に対して、燃焼、変形、溶融、亀裂、有害なガスの発生はありません。

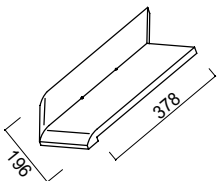
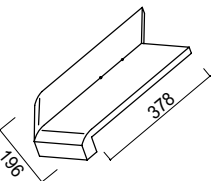
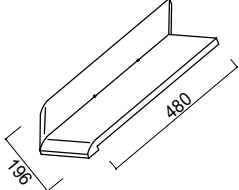
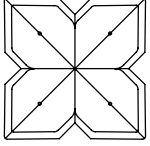
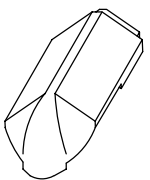
6. 製品リスト

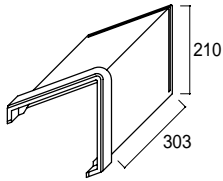
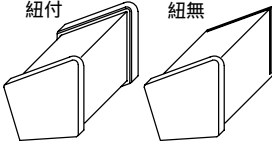
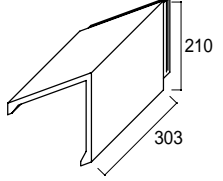
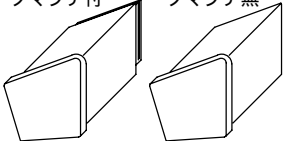
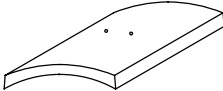
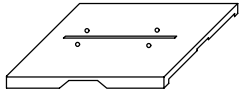
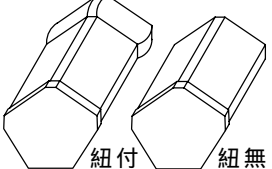
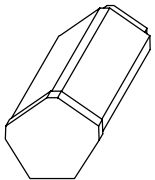
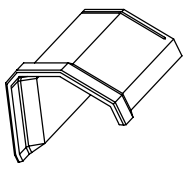
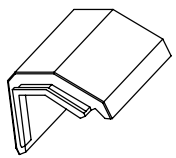
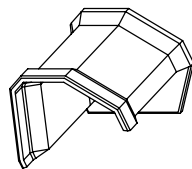
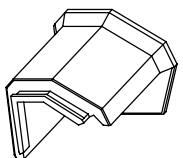
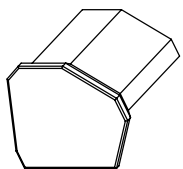
寸法は働き寸法

<p>スーパートライ110タイプ 三角冠工法はF1冠瓦を使用</p>		
<p>スーパートライF1棧瓦</p> 	<p>F1半瓦右 F1半瓦左</p>  <p>右 左</p>	<p>スーパートライF1雪止(角)</p> 
<p>スーパートライ110タイプ 三角冠工法はF2冠瓦を使用</p>		
<p>スーパートライF2棧瓦</p> 	<p>F2半瓦</p>  <p>現場加工 中心目安線を参考にカットして下さい。</p>	<p>スーパートライF2雪止(角)</p> 
<p>スーパートライ110タイプ 三角冠工法はF1冠瓦又はF2冠瓦を使用</p>		
<p>スーパートライF3棧瓦</p> 	<p>F3半瓦</p>  <p>現場加工 棧瓦を現場加工して使用してください。</p>	<p>スーパートライF3雪止(角)</p> 
<p>トライ袖瓦(紐付タイプ) 巴はF1巴(150) F2巴(150)を使用</p>		
<p>トライ袖瓦右 トライ袖瓦左</p>  <p>図は右</p>	<p>トライ角右 トライ角左</p>  <p>図は右</p>	<p>トライ寸長袖瓦右 トライ寸長袖瓦左</p>  <p>図は右</p>
<p>トライRS袖(紐付タイプ) 巴はF1巴(150) F2巴(150)を使用</p>		
<p>トライRS袖瓦右 トライRS袖瓦左</p>  <p>図は右</p>	<p>トライRS角右 トライRS角左</p>  <p>図は右</p>	<p>トライRS寸長袖瓦右 トライRS寸長袖瓦左</p>  <p>図は右</p>
<p>兼用袖(左右兼用タイプ) 巴はF1巴(125) F2巴(125)を使用</p>		
<p>トライ兼用袖</p> 	<p>トライ兼用角</p> 	<p>トライ寸長兼用袖</p> 

F 1 冠瓦 (紐付三角冠)				三角冠工法 タイプ 、タイプ に使用			
<p>F 1 冠瓦</p> 	<p>F 1 巴紐付 (150)</p> <p>F 1 巴紐無 (150)</p> <p>(トライ袖瓦用)</p> <p>(トライRS袖瓦用)</p> 	<p>F 1 巴紐付 (125)</p> <p>F 1 巴紐無 (125)</p> <p>(兼用袖専用)</p> 	<p>F 1 カップン</p> 				
<p>F 1 三つ又</p> 	<p>F 1 四つ又</p> 	<p>F 1 曲り</p> 	<p>F 1 菱巴右 F 1 菱巴左</p>  <p>(左袖に付くのが右菱巴 右袖に付くのが左菱巴)</p>				

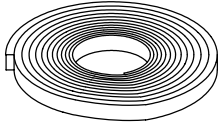
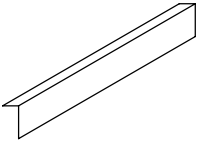
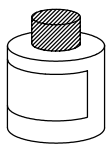
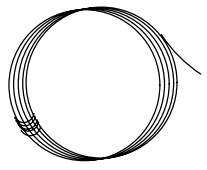
F 2 冠瓦 (三角冠タマブチ)				三角冠工法 タイプ 、タイプ に使用			
<p>F 2 冠瓦</p> 	<p>F 2 巴 (150)</p> <p>(トライ袖瓦用)</p> <p>(トライRS袖瓦用)</p> 	<p>F 2 巴 (125)</p> <p>(兼用袖専用)</p> 	<p>F 2 カップン</p> 				
<p>F 2 三つ又</p> 	<p>F 2 四つ又</p> 	<p>F 2 曲り</p> 	<p>F 2 菱巴右 F 2 菱巴左</p>  <p>(左袖に付くのが右菱巴 右袖に付くのが左菱巴)</p>				

同質差し棟				大棟部は F 2 冠瓦を使用			
<p>トライ差し棟</p> 	<p>トライ差し棟カップン</p> 	<p>トライ寸長差し棟</p> 	<p>トライ差し棟四つ又</p>  <p>受注生産品</p>				
<p>トライ寄棟止</p> 							

その他			
<p>F 1 片流冠瓦</p>  <p>受注生産品</p>	<p>F 1 片流巴紐付 F 1 片流巴紐無</p>  <p>紐付 紐無</p> <p>受注生産品</p>	<p>F 2 片流冠瓦</p>  <p>受注生産品</p>	<p>F 2 片流巴(タマブチ付) F 2 片流巴(タマブチ無)</p>  <p>タマブチ付 タマブチ無</p> <p>受注生産品</p>
<p>厚のし</p> 	<p>F 1 大棟面戸</p> 	<p>F 1 巴紐付(切欠き無) F 1 巴紐無(切欠き無)</p>  <p>紐付 紐無</p> <p>受注生産品</p>	<p>F 2 巴(切欠き無)</p>  <p>受注生産品</p>
その他(2010年 月発売)			
<p>新片流れ冠(紐付)</p> 	<p>新片流れ冠(タマブチ付)</p> 	<p>新片流れ用巴右(紐付)</p> 	<p>新片流れ冠用巴右 (タマブチ付)</p> 
<p>新片流れ用巴左 (紐付・タマブチ付兼用)</p> 			

雨押え・水切部材			
<p>軒先メタルL 三角の瓦座の場合のみ使用 瓦座の後ろに取り付け</p> <p>長さ 1829mm GLt=0.35</p>	<p>軒先メタルZ 瓦座の形状に関係なく取付 瓦座の前に取り付け</p> <p>長さ 1829mm GLt=0.35</p>	<p>平行壁・流れ壁メタル</p> <p>長さ 1829mm GLt=0.35</p>	<p>谷樋</p> <p>長さ 1829mm スルスルt=0.3 GLt=0.4</p>
<p>流れ壁捨水切</p> <p>長さ 1829mm GLt=0.35</p>	<p>ケラバ捨水切</p> <p>長さ 1829mm GLt=0.35</p>	<p>壁止め板金(右) 壁止め板金(左)</p> <p>図は左 GLt=0.35</p>	
木材			
<p>フリーエア 桟木 野地面通気工法で使用 滑り止付</p> <p>材質: ポリプロピレン 長さ: 2m 色: 黒</p>	<p>垂木42×42(針葉樹類) 樹脂棟垂木43×43(ポリスチレン)</p> <p>図は垂木 42×42 長さ: 3m</p>	<p>樹脂鼻桟 40×35</p> <p>材質: ポリスチレン 長さ: 3m</p>	<p>桟木 15×30以上</p> <p>針葉樹類 防腐処理</p>
<p>笠木 15×90</p> <p>針葉樹類</p>			
副資材			
<p>コンパクトロール(F形) 野地面通気工法で使用</p> <p>材質: アルミニウム複合素材+ ポリプロピレン製フリース 1巻: 10m×280mm</p>	<p>快適ロール 遮熱性透湿レフィル 野地面通気工法で使用</p> <p>1巻 20m×1m 材質: ポリエチレン 重さ: 2.9kg(1巻)</p>	<p>ピーカン P-換(F形用) 棟換気部材</p> <p>材質: 塗装GL鋼板0.4mm 付属品: 本体/1本、加-/2本、湿式プレート/2本 フチルテープ/8枚、コースレド ねじ25mm/14本、 パッキン付スルスルねじ65mm/3本</p>	
<p>エアフロー 棟換気部材</p> <p>材質: ポリプロピレン EPDMシート+ブチル粘着材 付属ビス(SUS304) ビスL=20/4本 ビスL=51/4本 ビスL=75/2本</p>	<p>パッキン付ステンレスねじ (パッキン付ステン瓦ビス) (ステンブロンズねじ)</p> <p>50, 75, 100, 125</p> <p>ねじ部 4.2mm SUSXM7</p>	<p>パッキン付ステンレス釘 (ステンブロンズ釘)</p> <p>55, 75, 100</p> <p>ねじ部 3.4mm SUS304</p>	<p>ハイブリッドリング釘 F形用 (瓦用)</p> <p>#12×68mm #13×68mm</p> <p>SUS304</p>

副資材			
<p>耐風L釘</p> <p>#12 × 50mm</p>  <p>SUS304</p>	<p>ステンレスリング釘 (桧木用)</p> <p>#14 × 50mm</p>  <p>SUS304</p>	<p>ステンレススクリュー釘 (板金用)</p> <p>#14 × 32mm</p>  <p>SUS304</p>	<p>B K 貫止めベルト (棟金具 0)</p>  <p>カラーGL鋼板</p>
<p>B K 棟金具</p> <p>20, 30, 40, 50, 60, 70, 80</p>  <p>ZAM+エポキシ塗装</p>	<p>調整式ステン棟金具</p> <p>40 ~ 60, 60 ~ 100, 80 ~ 120</p>  <p>SUS430</p>	<p>スノーフライフ 1 雪止金具</p> <p>色：黒・茶・緑・銀 サマースノー色は受注生産</p>  <p>SUS430</p>	<p>扇形雪止金具 (スノーフライフ 1 用)</p> <p>色：黒・茶・銀</p>  <p>SUS430</p>
<p>スノーフライフ 2 雪止金具</p> <p>色：黒・茶・緑・銀</p>  <p>SUS430</p>	<p>扇形雪止金具 (スノーフライフ 2 用)</p> <p>色：黒・茶・銀</p>  <p>SUS430</p>	<p>スノーフライフ 3 雪止金具</p> <p>色：黒・茶・緑・銀</p>  <p>SUS430</p>	<p>GL ハイパーアーム金具</p>  <p>カラーGL鋼板</p>
<p>E P D M シーラー 25 × 20</p>  <p>長さ 2000mm 主に F に使用</p>	<p>E P D M シーラー 15 × 15</p>  <p>長さ 2000mm 主に F に使用</p>	<p>E P D M 流れ壁用シーラー</p>  <p>長さ 580mm 幅 290mm 厚さ 20mm</p>	<p>防水テープ 150 × 500</p>  <p>長さ 150mm 幅 500mm</p> <p>主に F 隅棟部に使用</p>
<p>防水テープ 175 × 500</p>  <p>長さ 175mm 幅 500mm</p> <p>主に F 隅棟部に使用</p>	<p>防水テープ 240 × 18m</p>  <p>長さ 240mm 幅 18m</p> <p>主に大棟部に使用</p>	<p>シリコン入南蛮しっくい</p> 	<p>瓦用接着剤</p>  <p>瓦用接着剤</p> <p>シリコン又は変成シリコン</p>
<p>スノーフライフ 1 雪止金具後付</p> <p>色：黒・茶・緑・銀</p>  <p>SUS304 製造メーカー直送品</p>	<p>スノーフライフ 2 雪止金具後付</p> <p>色：黒・茶・緑・銀</p>  <p>SUS304 製造メーカー直送品</p>	<p>スノーフライフ 3 雪止金具後付</p> <p>色：黒・茶・緑・銀</p>  <p>SUS304 製造メーカー直送品</p>	<p>ゴムアスルーフィング</p> 

副資材			
<p>縦棧用テープ (エコキズリ・ルーフテープ)</p>  <p>1巻 50m</p>	<p>平板用軒先プラ面戸 色：黒</p>  <p>長さ 1000mm 塩化ビニル 軒先の瓦座(角材)に打ち付けて使用</p>	<p>ペンキ</p> 	<p>【取り扱いについてのご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペンキはタレないように、必要箇所のみ塗布すること。 ・局部処理用です。広い部分には使用しない。(補修用ペンキで釉薬面とは違い経年変化により変色します。広い面積に使用すると違和感が生じます。) ・使用前に色が均一になるまで攪拌すること。(攪拌が不十分な場合、色違いの原因となる。)
<p>ホルマル被覆銅線 又はステンレス線</p>  <p>#19以上</p>			

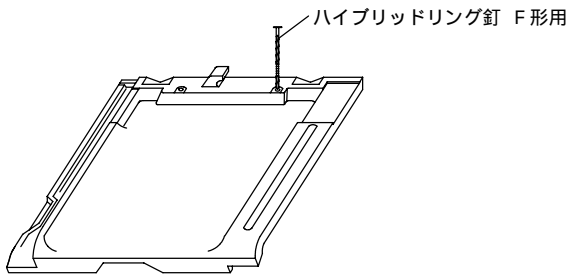
製品リスト(使用部材)について

- ・副資材について
製品リスト記載の副資材等の部材は当社推奨品です。
瓦屋根標準設計・施工ガイドラインの仕様に準拠している部材は使用可能です。

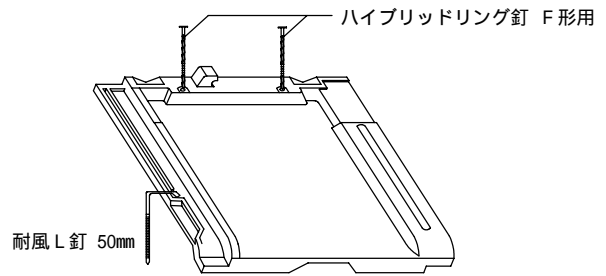
各釘の使用箇所

棧瓦（共通）

平部

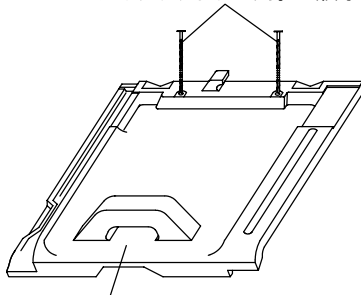


軒先部



雪止（タイプ・タイプ・タイプ）

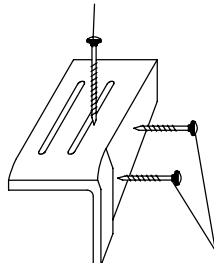
ハイブリッドリング釘 F形用



スーパーライフ F1 雪止（角）
スーパーライフ F2 雪止（角）
スーパーライフ F3 雪止（角）

トライ袖瓦（角・寸長袖）

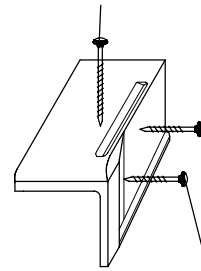
パッキン付ステンレスねじ 75mm



パッキン付ステンレスねじ 50mm

トライRS袖瓦（角・寸長袖）

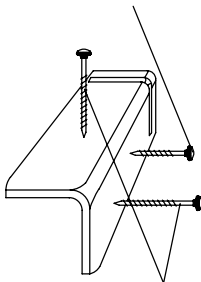
パッキン付ステンレスねじ 75mm



パッキン付ステンレスねじ 50mm

トライ兼用袖（角・寸長）

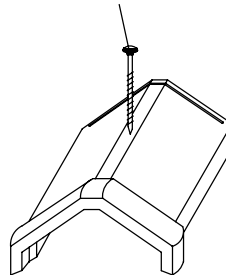
パッキン付ステンレスねじ 50mm



パッキン付ステンレスねじ 75mm

F 1 冠瓦、F 2 冠瓦

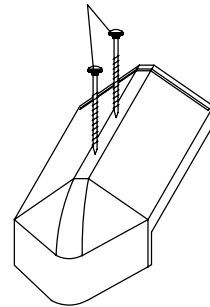
パッキン付ステンレスねじ 75mm



F 1 カップン

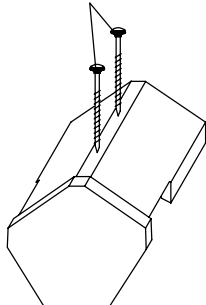
F 2 カップン

パッキン付ステンレスねじ 75mm



F 1 巴、F 2 巴

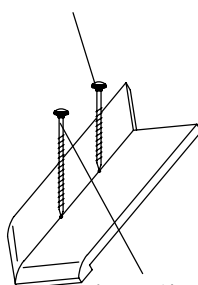
パッキン付ステンレスねじ 75mm



トライ差し棟カップン

トライ寸長差し棟

パッキン付ステンレスねじ 75mm

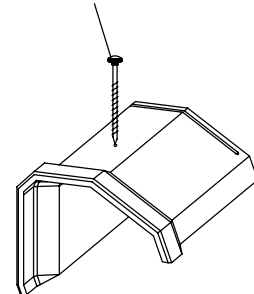


パッキン付ステンレスねじ 100mm

新片流れ冠

新片流れ冠巴

パッキン付ステンレスねじ 75mm

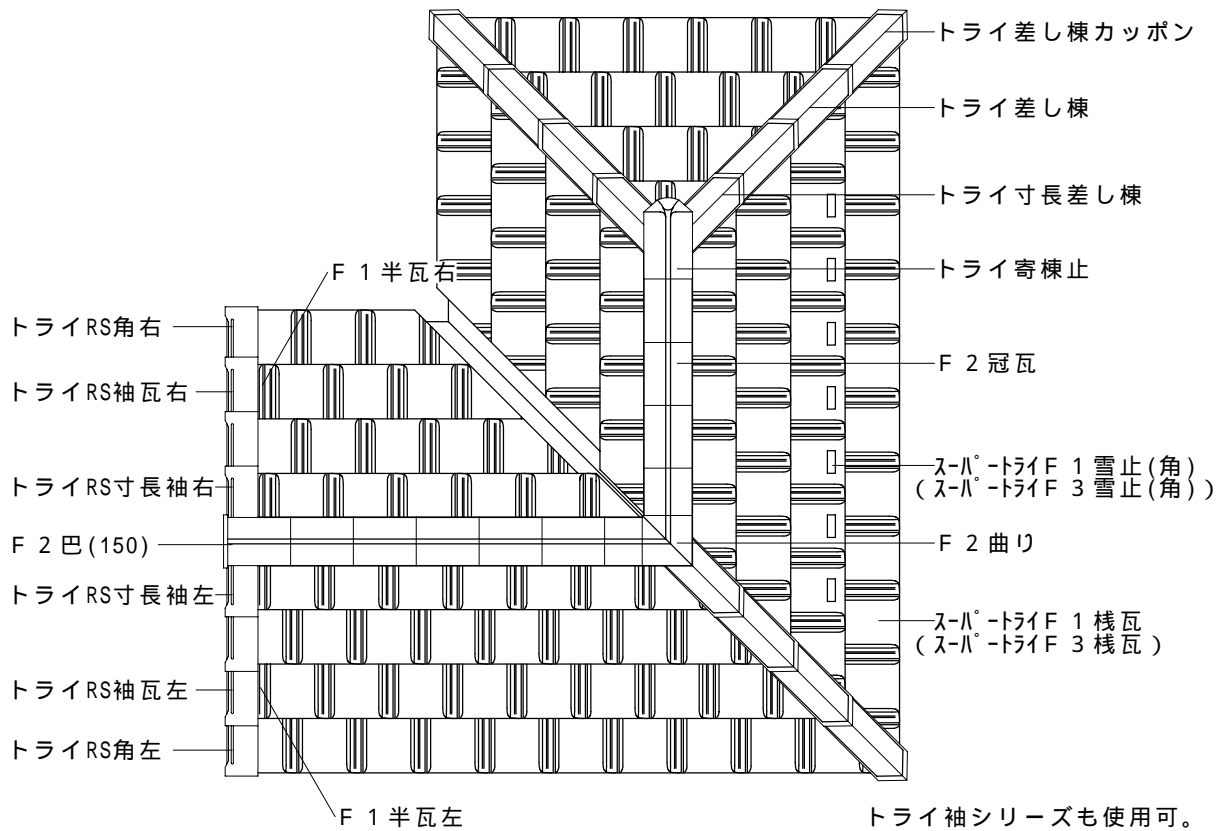


図は新片流れ冠（紐付）

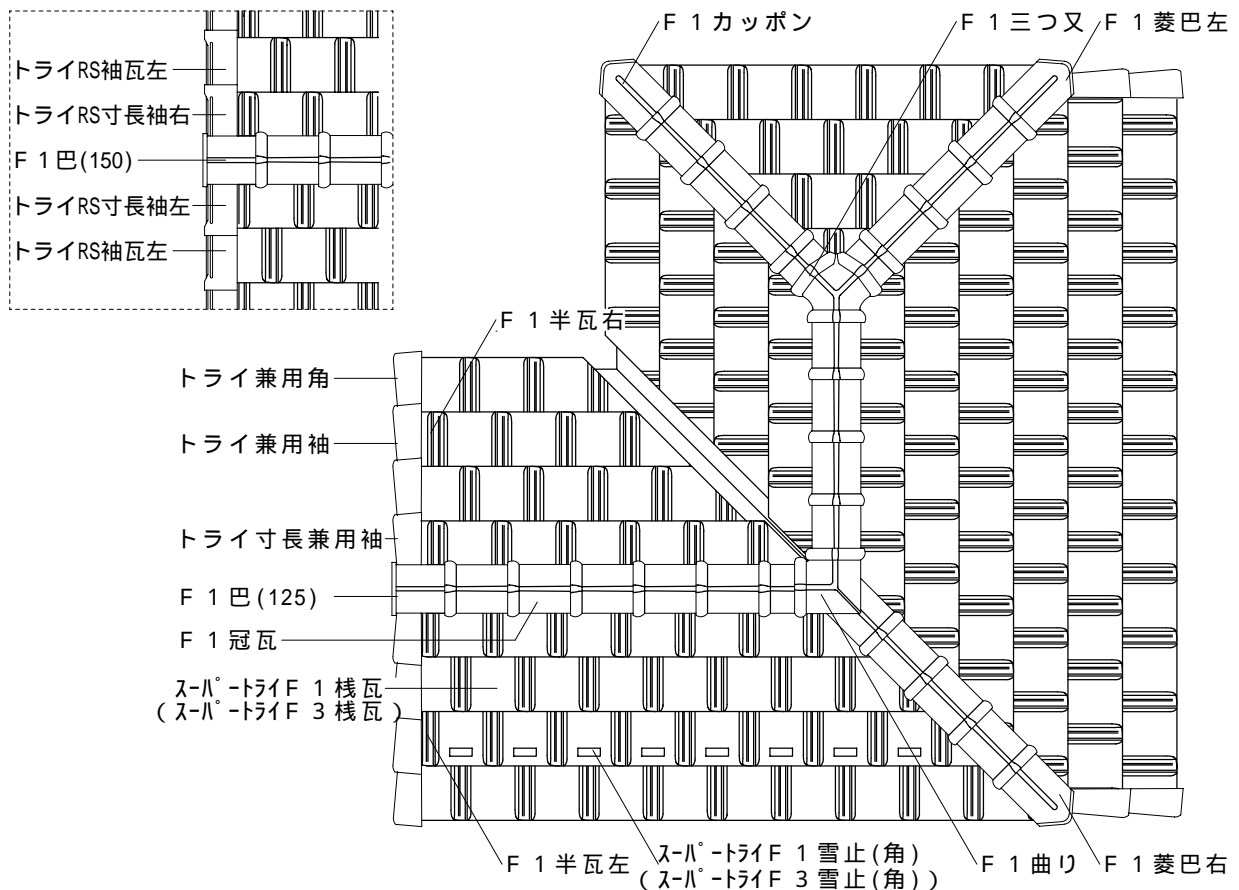
役物使用箇所 - スーパートライ F 1・F 3

袖瓦の組み合わせは自由です。

同質差し棟工法



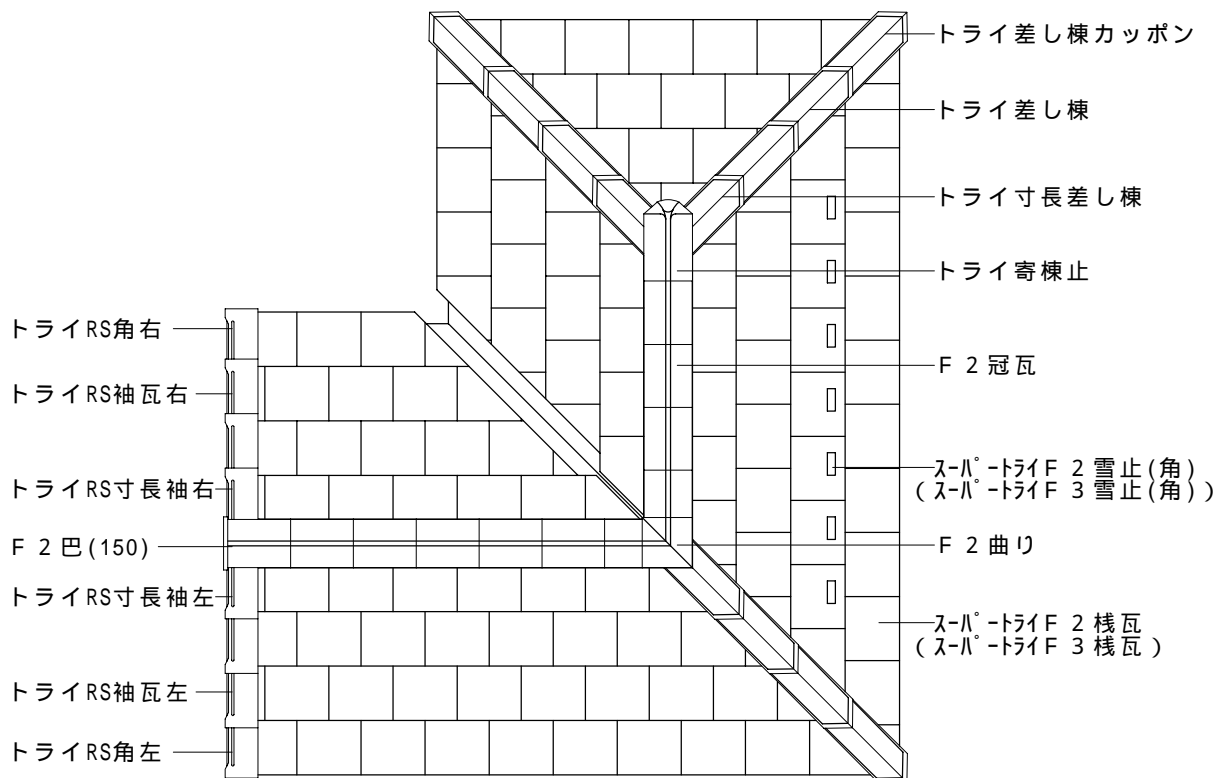
同質三角冠工法



役物使用箇所 - スーパートライ F 2・F 3

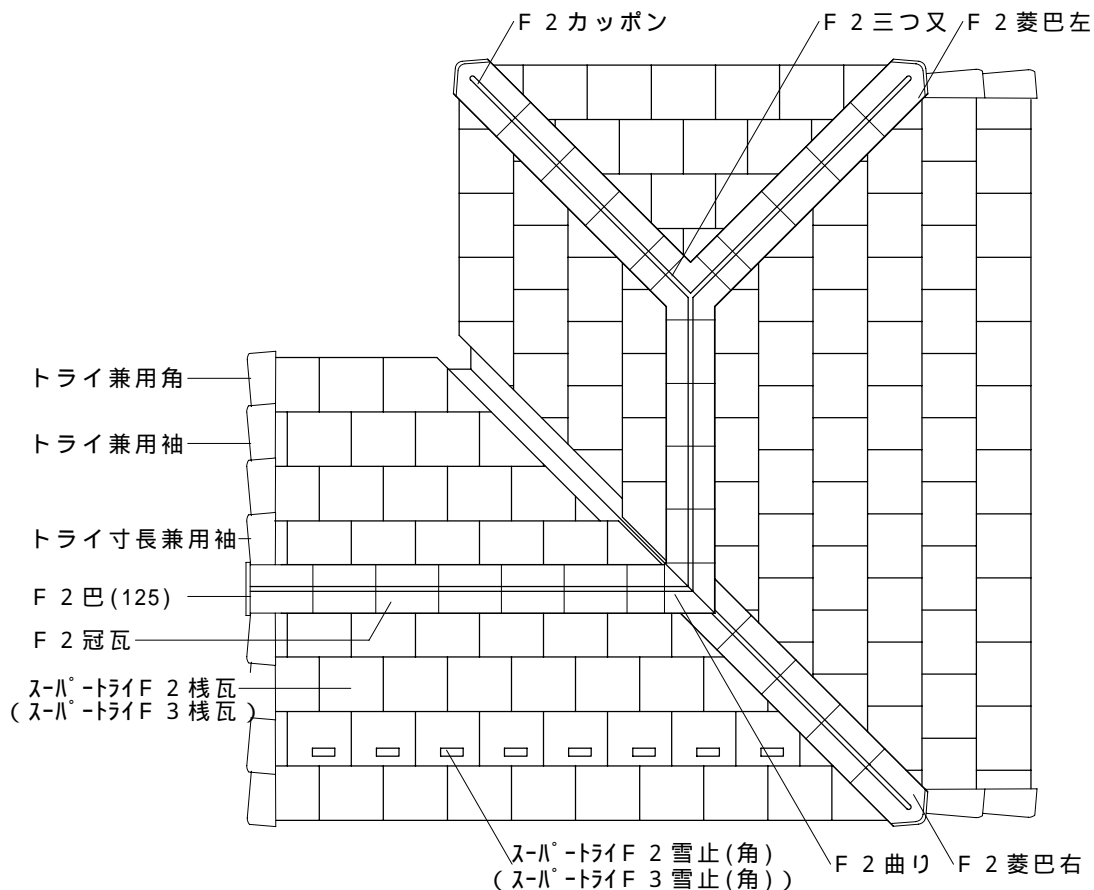
袖瓦の組み合わせは自由です。

同質差し棟工法



トライ袖シリーズも使用可。

同質三角冠工法



7. 屋根瓦割寸法

野地の瓦割り付け

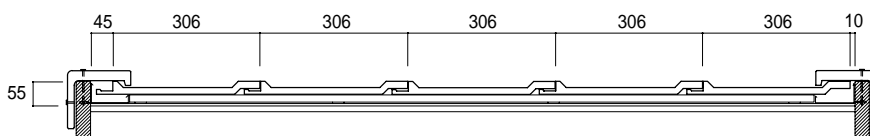
野地の瓦割り付け

- * 野地板調整など瓦の割り付けをする場合は下記寸法によって割り付けてください。
- * ケラバ際、壁際、棟際の棧瓦は屋根の大きさに合わせ瓦を切断して施工することも出来ます。

【半瓦を使用する場合（タイプ ）】

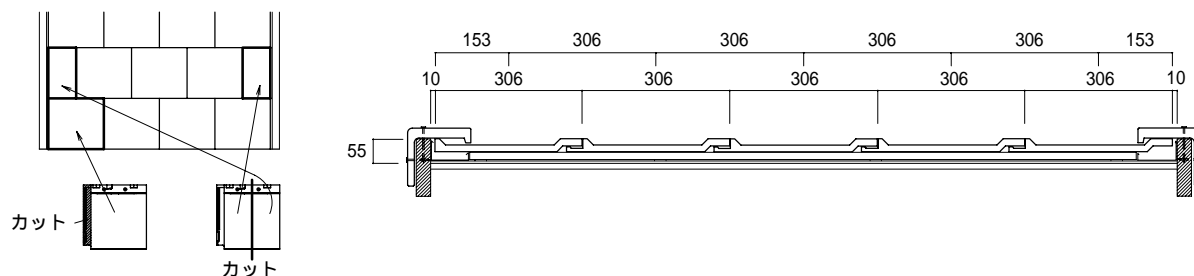
注意 破風板内々の寸法

- * 桁行方向の野地寸法は、棧瓦の働き幅306mm又は153mmの倍数 + 55mmで決めてください。

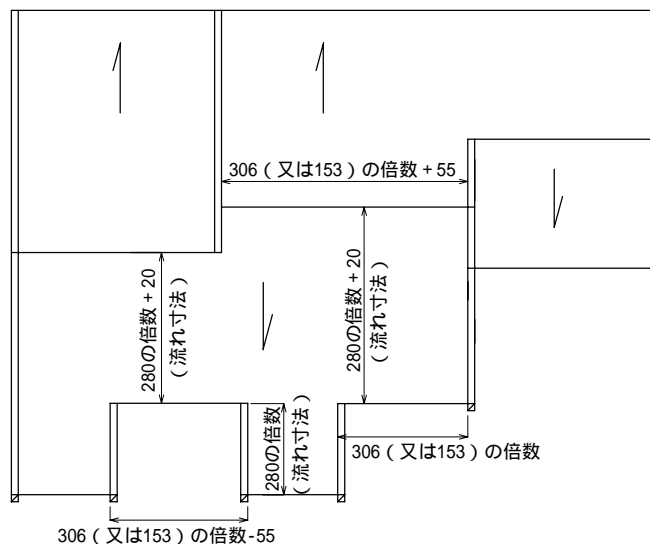
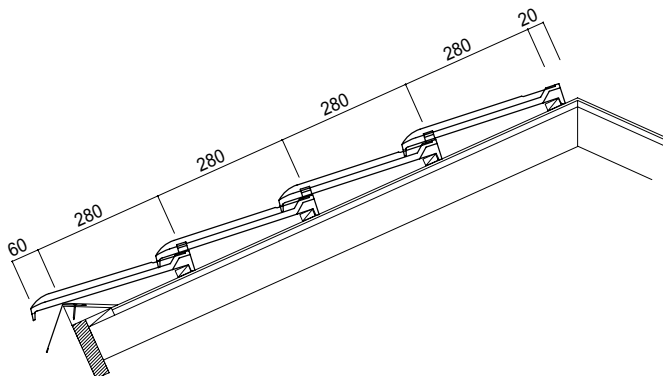


【半瓦を使用しない場合】

- * 桁行方向の野地寸法は、棧瓦の働き幅306mm又は153mmの倍数 + 20mmで決めてください。
- * ケラバ側の棧瓦は下図のようにカットして使用してください。



- * 流れ方向の野地寸法は、280mm（瓦の出60mmの場合） + 棧瓦の働き足280mm（標準）の倍数 + 20mmで決めてください。



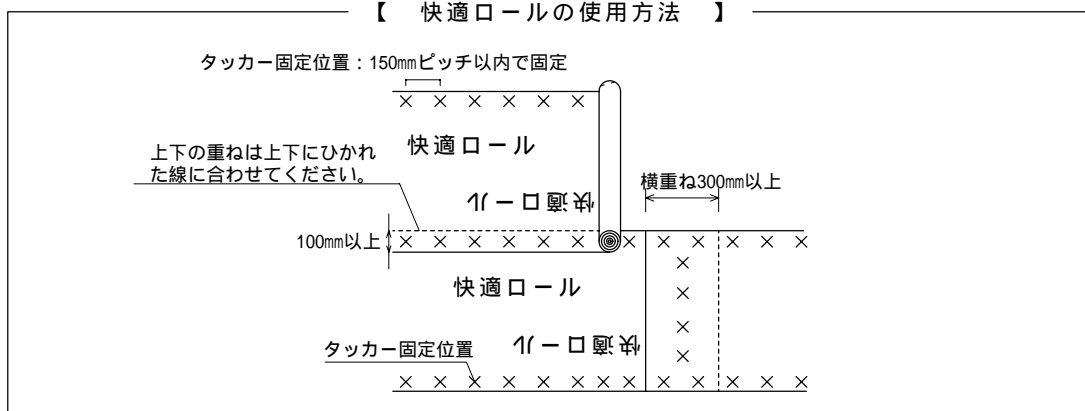
9 . 下葺工事

防水材

- * ルーフィングは桁行き方向に横張りしてください。
- * ルーフィングの重ね、立ち上げ寸法は下記図及び表を参考にしてください。
- * 軒先は瓦座の先端まで張ってください。
- * ピンホールが出来るおそれのある所、破れた所は、ブチル系・アクリル系の防水テープやコーキング等で補強してください。（快適ロールの特性上、ゴムアス系のテープは使用不可です）

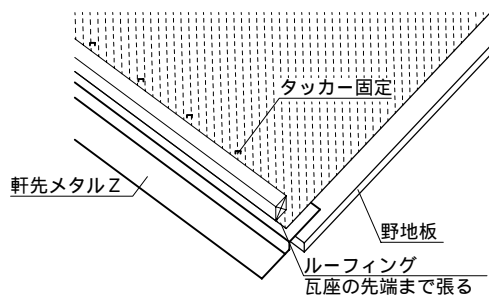
	流れ方向	桁行方向	大棟	隅棟	谷	壁際
ルーフィング重ね 立ち上げ寸法	100mm以上 重ねる	300mm以上 重ねる	棟芯より 300mm以上 重ねる	水下側で 250mm以上 重ねる	捨てルーフィング + 水上側で 200mm以上 重ねる	250mm以上 立ち上げる

【 快適ロールの使用方法 】

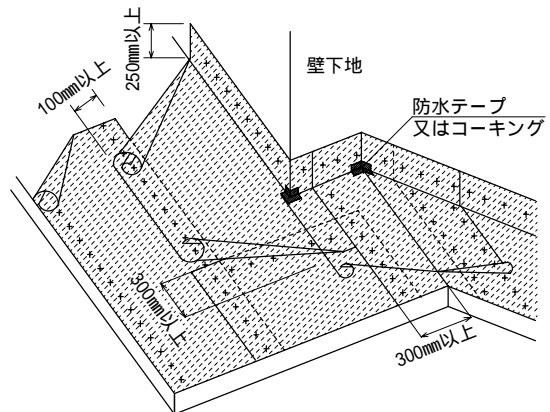


【 軒先部 】

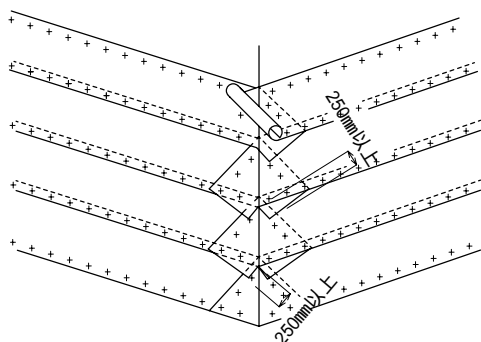
軒先1段目のルーフィングは雨仕舞いのため、横重ねを作らないよう、1枚もでの施工をお勧めします。



【 壁際・大棟部 】



【 隅棟部 】



【 谷部 】

